たちばな新聞

寶清寺　水谷山　たちばな会館

春のお彼岸

三月十八日が入り、三月二十一日（金）はお中日、二十四日が明けです。

お彼岸にはお搭婆をお供えして、ご家族で墓参致しましょう。

お釈迦様のお言葉に、

「人の世にいのちを受くることは難く、やがて死すべきものの、今いのちあるはあり難し。」また、「人身受け難し、今すぐに受く。」とあります。

人としてこの世に生を受けることは、きわめて稀ですが、「今ここにこうして命を受けている。」という意味です。

命には限りがあります。しかし、我々はそのことをあまり自覚してはいません。限りある命と限りある人生、そのことに目覚めることが、我々が授かった命を大切にし、今ある人生に緊張感を生み出すのではないでしょうか。

命が尊いことは誰でも分かっています。しかし、その命の尊さは命のはかなさと直結していて壊れやすいことを忘れがちです。今ここにある命を大切にし、ご先祖様に感謝の気持ちを持って墓参致しましょう。

※お彼岸の期間中は管理寺務所に、墓参用の生花とお線香の用意がありますのでご利用ください。

尚、お搭婆のお申し込みは、同封のお搭婆申し込み専用のはがきをご利用になり早めに投函して下さい。

FAXでもお受け致します。

寶清寺 法語

第三十七回

「心の財をつませ給うべし」

（崇峻天皇御書）

このご遺文は、四條頼基公からの贈り物に対する礼状で、頼基公は、謹慎中でしたが、やがて主君の誤解が解けた後、薬事の心得があったことから、主君の病気療養を命じられました。

日蓮聖人は、許された上に、以前より厚遇されることになったことを自慢したり、油断してはならないと事細かに教示され、人としての振る舞いこそが大切であると戒められました。**経済優先の現代社会の不安は、本当に大切にしなければならないものを失いつつあるここからくるのかもしれません。心に財を積めば人生をより輝かせ、やがて安穏な社会へと進む力となるのではないでしょうか。**

住職ひと口法話

第三十七回

先日、長女家族と長女宅近くの「そば屋」に行きました。そのお店はかなり有名な店で常連客も多い。「そば」の他に、旬の食材で作った単品料理の評判も良いお店だ。我々が注文して食べ始めた頃、手の空いたご主人と常連客のお医者さんのご夫婦の会話が聞こえてきた。そのご夫婦は、長時間走ることを取り入れた、かなりハードな運動を日常的に行っているようで、店のご主人が「良く頑張りますね。」と話すと、**「人間は確実に衰えていくけれども、衰えを遅らせることは出来るものですよ。」**と答えていた。その言葉が気になった。

そう言えば、最近、健康管理のために、マラソンをする人、ご夫婦でウオーキングをしている人、スポーツジムに通う人などを多く見かけます。

私も家内に勧められて、運動不足解消のために週に二日か三日、四十分程度のストレッチに通い始めた。始めてまだ間がないが、体調は以前より良いようだ。私の主治医は「週に二日は現状維持、三日目から体力の回復になる。」と、続けることを進めてくれた。通っているジムで、一生懸命にやり過ぎて、体調を壊した人もいる。私と家内は居合わせた人との会話を楽しみながら通っている。**貝原益軒の養生訓に「よきほどに飲みて喜を合わせて楽しむ」ことが肝腎と、酒を飲む人を戒めた言葉があるが、「過ぎたるは及ばざるがごとし」、「ほどほどが良い。」の気持ちで健康維持のつもりでストレッチを続けようと思っている。**

!?仏事Q&A

第九回

最近、葬儀に関するご質問が多くございますので、数回に亘り疑問を解明しようと思います。

Q1「通夜・葬儀・告別式、すべて参列しなければいけないのでしょうか。」

A「故人と同居の親族は喪主と共に通夜・葬儀・告別式を執り行う。一般的には、親族、親戚は通夜から葬儀・告別式のすべてに出席するのが基本です。ただし、普段からまったく付き合いがなければ、どちらか一方に出席すれば問題はないと思います。会社や職場関係の場合で、故人と親しかったり、また、故人の直属の上司の場合は、通夜・葬儀・告別式に出席するのが良いでしょう。故人の勤務先の代表者は可能であれば通夜・葬儀・告別式共に出席し、それ以外は、どちらかに出席するか、あるいは代表者名で弔電を送ったり、連名で香典を出し、代表者のみが告別式に参列するケースが多いようです。」

Q2「お通夜は喪服で行っては行けないと聞いたことがありますが。」

A「仮通夜や通夜は急なお知らせを受けて取り急ぎ駆けつけるものなので、喪服で行くと前々から準備していたようだから失礼とされています。**グレーや紺色の服が好ましいとされていますが、最近は、黒っぽい服なら良いとの考えもあるようです。**」

Q3「香典の包み方、渡し方について教えて下さい。」

A「香典は不祝儀袋に入れ、袱紗などで包んで持って行く（ハンカチで代用しても良い。）死を予測していたと思われるため、**新しいお札は包まない方が良いようです。**ご霊前の祭壇に供える場合は、表書きを自分側に向けて供える。受付で渡す場合は、受け取る人に向けて渡す。香典の断りがあれば、無理に渡さなくても良いと思います。」

Q4「葬儀に行く時の服装マナーについて、女性と男性、それぞれ何に気をつけたら良いのでしょうか。また、子供には何を着せたら良いのでしょうか。」

A「女性の場合、肌の露出を控えるよう襟ぐりは狭く、スカート丈も膝下、ストッキングは黒（タイツは不可）メイクや髪型は控えめに、マニキュアは落とすか黒の手袋をする。バックは光沢のあるものや派手なもの、毛皮は避けること。靴はシンプルな黒（ミュールや高いヒールは避ける）を、アクセサリーは一連のパールネックレスならばつけても良い。（イヤリングは不可）石の付いた指輪は外すか、内側に石を回して付ける。男性の場合、ネクタイは黒の無地で、ボリュームの出る結び方や結び目のくぼみはつくらないようにする。シャツは白、靴下は黒。派手な時計などの装飾品は避ける。革靴、カバンも黒であれば失礼はないようです。子供の場合は、学校の制服、もしくは白シャツに紺か黒のズボン、または、スカート。乳幼児は赤色を身につけなければ良いようです。」

Q5「お悔やみの言葉で気をつけなければいけないことはどんなことでしょうか。」

A「葬儀でのお悔やみの言葉は、故人との関係によって変わりますが、余計なことを言うとかえって差し障りができてしまうことも考えられるので、手短に平凡な方が問題も少ないと思います。**葬儀では、通夜と違って、喪主や遺族にお悔やみのことばを述べないのが礼儀とされています。**目が合っても黙礼程度にとどめておくのが良い。また、生前の病状などを根掘り葉掘り聞くことは、失礼にあたるので注意が必要です。」

次号も、葬儀の特徴や儀式に関して、疑問に思っていることを解明致します。

発行　寶清寺　東京都あきる野市小川101番地　電話 042-558-2663　FAX042-558-2693　たちばな会館電話 042-550-5868

星表

當女男の年星尊表

（数え年と満年齢）

女	男
九歳 十八 二十七 三十六 四十五 五十四 六十三 七十二	一歳 十 二十九 三十八 四十七 五十六 六十五 七十四
十歳 十九 二十八 三十七 四十六 五十五 六十四 七十三	二歳 十一 三十 三十九 四十八 五十七 六十六 七十五
十一歳 二十 二十九 三十八 四十七 五十六 六十五 七十四	三歳 十二 三十一 四十 四十九 五十八 六十七 七十六
十二歳 二十一 三十 三十九 四十八 五十七 六十六 七十五	四歳 十三 三十二 四十一 五十 五十九 六十八 七十七
十三歳 二十二 三十一 四十 四十九 五十八 六十七 七十六	五歳 十四 三十三 四十二 五十一 六十 六十九 七十八
十四歳 二十三 三十二 四十一 五十 五十九 六十八 七十七	六歳 十五 三十四 四十三 五十二 六十一 六十九 七十八
十五歳 二十四 三十三 四十二 五十一 六十 六十九 七十八	七歳 十六 三十五 四十四 五十三 六十二 七十一 七十九
十六歳 二十五 三十四 四十三 五十二 六十一 七十 七十九	八歳 十七 三十六 四十五 五十四 六十三 七十二 八十
十七歳 二十六 三十五 四十四 五十三 六十二 七十一 八十	九歳 十八 三十七 四十六 五十五 六十四 七十三 八十一
十八歳 二十七 三十六 四十五 五十四 六十三 七十二 八十一	十歳 十九 三十八 四十七 五十六 六十五 七十四 八十二

男●羅喉星

進運　新しき運開く路事　順調に引き立つ

女○木曜星

楽運　喜び重なり来る年　頃は長く春にまつわる婚姻吉

男●計都星

女●土曜星

滞運　凶交々来る事も　気を守るが賢明也

男◐土曜星

運運　花も咲き出す如く急ぐ吉

女●火曜星

落れば開ける辛抱せば　病は注意

男●水曜星

女○羅喉星

男●金曜星

女●火曜星

男◐火曜星

女○日曜星

男○日曜星

女◑土曜星

男◑土曜星

女●羅喉星

男◐水曜星

女◑金曜星

男○木曜星

女◑水曜星

日蓮聖人伝

第弐話

『御生誕』（二）

いでしょう。

父親の名は貫名次郎重忠、母親は梅菊です。

聖人の誕生譚には奇瑞がつきものですが、日蓮聖人の誕生の時には、庭先から清水が湧き出し、二月だというのに蓮の花が咲いたといわれています。

誕生寺に行かれるとわかりますが、房総半島は十一月下旬でも黒潮の影響で温暖な気候ですが、七月から八月にかけて咲く蓮が、開花するのは不思議としか思えず、奇瑞としかいいようがない事実です。

二月節分は、重要な意味がある日です。お寺では豆まき以外に「星祭り」が行われます。

節分は、星周りの上から見ると、新しい年を迎える日であり、節変わりには、運気の変動があるとされています。新しい年が厄年や午年の方、また左記の星表にあるように、黒丸や半黒の方は、星祭札をお申し込みされ、悪星を善星にかえることをお勧めします。

【星表】は、新年にお参りされた方に無料で配布しております【日蓮宗御寶鑑】に掲載されています。その他にも暦が記載されていますので、転居や旅行に行かれる方は一読されるとよいでしょう。

節分には、星祭りにあわせて**交通安全祈願**も行っております。祈願後、交通安全札をお渡ししておりますので、車検証と一緒に入れておいてください。

伝説的な名前であり、日蓮聖人ご自身がそう名乗ったとは記されておりません。

また、日蓮聖人にとっても幼少の話しをすることや、先の出自を説明することよりも、衆生救済に推し進めることが重要な事であり、個人的な話しをすることは、必要のないことだったのでしょう。

「宝清寺の草花」の欄でご紹介しました。山門桜（市指定銘木・枝垂れ桜）の開花時期や見頃について、毎年、多くの問い合わせを頂いております。

近年では、デジタルカメラの性能が向上し、年配のカメラマンが脚立を携えて、山門を占拠されている光景をみかけますと、多くの方が山門桜を待ち望んで居ることがわかります。

このように、問い合わせが多く、開花を待ち望んでいらっしゃる方のために、定点カメラを山門側に設置いたしました。

定点カメラの画像は、インターネットの宝清寺公式ページから確認できるようになっています。システムの都合上、パスワードが付いておりますので、画像を見られる方は、操作方法の手順にしたがってご視聴ください。（ホームページ・アドレスは左端下に掲載）

行事案内

星祭り。豆撒き。交通安全札のご案内

追編 集必記

宝清寺の草花

宝清寺の花として代表的なのが、枝垂れ桜と牡丹です。

枝垂れ桜は、新聞でもなんとも掲載しましたが。ここ数年は異常気象により、開花が遅れたり、ひどい年には三分咲きで散ってしまったりと、残念な年もありました。

しかし、枝垂れ桜だけではなく、宝清寺の山門には、大山桜が植わっています。こちらの見頃は四月中旬頃です。枝垂れ桜は、花は小さめですが、数が多いので少し離れて見ると美しいものです。

また、大山桜は逆に花が鞠のように咲き、近くで見ると見応えのある桜といえるでしょう。

たちばな墓苑側にも、枝垂れ桜がありますので、山門桜とあわせてご鑑賞ください。

例年ですと、三月の下旬に見頃をむかえ、花祭り（お釈迦様の誕生日・四月八日）には、その見頃も終わっています。

宝清寺では、花祭り（灌仏会）、お盂蘭盆会（お会式）の施餓鬼法要、日蓮聖人の御誕生会を毎年盛大に厳修しております。

このほかにも諸祈願や自動車のお祓い、年忌供養・祥月命日供養・月命日供養等も行っております。詳しくは寺務所までご相談ください。

日蓮宗の聖日

三月彼岸中日	塔婆供養	二月十五日	釈尊涅槃会
四月八日	花祭り	二月十六日	宗祖降誕会
七月十七日	盂蘭盆供養	四月八日	釈尊降誕会
七月十七日	施餓鬼法要	四月二十六日	立教開宗会
九月彼岸中日	塔婆供養	五月二十三日	伊豆法難会
十月十二日	お会式法要	五月十七日	身延御入山
		七月八日	本尊始顕会
		八月二十七日	松葉谷法難会
		九月十二日	龍ノ口法難会
		九月十八日	池上御入山
		十月十三日	宗祖御会式
		十月十二日	小松原法難会

檀信徒心得

寺檀安全	二月十五日
商売繁盛	二月十六日
家内安全	四月八日
方位除	四月二十六日
開運祈願	五月二十三日
安産祈願	七月十七日

発行・日蓮宗水谷山宝清寺
住所・東京都あきる野市小川一〇一
電話・〇四二―五五八―二六六三
FAX・〇四二―五五八―二六九三
インターネットホームページ
http://www.abaoune-net.jp/house/
メールアドレス
houseji@acaouone-net.jp